

平成27年度  
(第23期)

# 事業計画

自 平成27年4月 1日  
至 平成28年3月31日



公益財団法人 とかち財団

## 平成27年度事業計画 目次

I 基本方針	-----	1
II 平成27年度事業計画	-----	2

## I 基本方針

北海道経済は、「アベノミクス」によるデフレ脱却への期待感から、雇用・所得環境の改善が見えるものの、消費税率の引き上げ、電力料金の値上り、円安による原材料費のコストアップなど製造業を取り巻く環境は、依然厳しい状況が続いています。

十勝圏においては平成26年度の管内JA取扱高が2,798億円と前年を140億円上回る結果となり4年連続の増額で過去最高となったものの、本年1月より日豪EPA協定の効力が発生し、TPP交渉も依然として予断を許さない状況が続き、先行きの不透明さが増しています。

また、金融機関が調査した景気動向調査において、十勝管内の景況感が平成26年12月に今年の最低値であると発表されるなど、消費税率引き上げ前の駆け込み需要後の買い控えなどの影響から抜け出せない業種も多く景気の悪化が鮮明となっていると報告されています。

そのような中、昨年末には地方創生政策の要となる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定され、産業振興や雇用創出、生活環境づくりを地方が自ら考え、責任をもって戦略を推進することが求められています。

こうした状況を踏まえ、当財団では、市町村訪問を積極的に行い、地域ニーズの把握に努め、専門技術や知識を積極的に活用した製品開発支援や企業等が抱える問題解決、産業界に求められる技術に関する講習会等の実施など、ものづくり支援に取り組めます。

また、これまで財団が蓄積した専門知識を活かし、地域の農畜水産物や加工品の付加価値をさらに高めるための支援や販路開拓支援、農林水産業の6次産業化支援などに取り組むとともに、産学官連携を促進し関係機関等とのネットワークを活かした地域連携強化に取り組めます。

とち財団産業活性化ビジョンに掲げる「ものづくり支援」及び「地域連携支援」の2本の柱に基づき、地域が財団に求める役割を把握しながら、地域産業の競争力強化を目指した事業の実施と効率的な法人運営に努めてまいります。

## Ⅱ 平成27年度事業計画

### 1 食産業支援事業【公益目的事業1】

#### (1) 検査分析事業

企業等から依頼のあった食品の成分や微生物検査等の分析を実施し、公設試験研究機関としての証明を行う。

#### (2) 試験研究事業

地場農畜水産物の高付加価値化や品質安定化等を図るため、地域企業と連携した4つの研究テーマを設定し試験研究を実施する。また文部科学省や農林水産省など各省庁の情報を的確に捉え、外部資金を獲得し試験研究の実施を目指す。

- ・ ブラウンスイス牛を用いた肉加工品の開発
- ・ 十勝産水牛乳を用いた乳製品の開発に関する試験
- ・ 地場産原料の粉末素材における利活用の検討
- ・ 海外向け製品の賞味期限延長技術の開発

#### (3) 技術相談・指導事業

企業等が抱える新製品・新技術開発及び生産現場における問題点等の相談に対し、当財団職員の専門技術や知識を活用し、その解決に向けた指導・助言を行う。また、市町村を積極的に訪問し、生産現場における相談・指導体制の強化を図る。

#### (4) 講師・アドバイザー派遣事業

市町村や関係機関等からの要請に応じ、当財団研究員を食品加工技術の専門家として講師等に派遣し、専門技術や知識の普及、商品開発支援を実施する。

#### (5) 人材育成事業

食品開発や品質管理、加工・分析機器等に関する専門性の高い技術者育成セミナーや講演会等を開催する。また、企業等の技術者の資質向上を目的とした研修生を受け入れ、食品加工に関する技術取得を支援する。

#### (6) 技術研究会

十勝管内で食品加工や商品開発、品質管理に携わる経営者や技術者の交流の場である十勝園地域食品加工技術者の会を開催する。また、技術課題解決や新製品・新技術開発を図るための情報交換の場として十勝圏ナチュラルチーズ品質管理研究会を開催する。

#### (7) 技術交流事業

当財団が支援する事業に研究員が参加し、食材開発や事業化の検討、技術情報の提供、加工食品の評価・検査等を実施する。

#### (8) 情報提供・成果普及・PR 等

研究開発事例や技術相談対応などの技術支援成果を発表するとともに、他機関等の主催行事に参加し、当財団の研究事業等のPRを行う。

- ① ホームページの運用
- ② 成果発表会の実施

#### (9) 指定管理業務

北海道から北海道立十勝園地域食品加工技術センターの指定管理者の指定を受け、施設の適切な保守管理を行うとともに、施設等の情報提供や設備機器の利用促進活動を行い、利用者へのサービス向上を図る。

## 2 ものづくり産業支援事業【公益目的事業2】

### (1) 企業相談事業

企業等において生じた技術的課題やニーズ等を収集するとともに、財団が有する技術やネットワークを活用し、コーディネート等企業等の課題解決やニーズ等に対応した技術開発やものづくりへの支援を行う。また、経営や創業に関する相談に対しても対応を行う。

### (2) 検査分析事業

企業等からの鉄筋やコンクリートの強度試験等の依頼を受け、公的な試験成績証明書を発行するとともに、製品開発や品質管理等を行うために設備機器の利用促進を図る。また、パークゴルフ用品の国内唯一の試験機関として公的な試験成績証明書を発行する。

### (3) 試験研究事業

北海道が実施する「地域ものづくり産業力強化対策事業補助金」を活用し、企業ニーズに対応した3つの研究テーマを設定し製品開発に取り組むほか、外部資金を獲得し試験研究の実施を目指す。

- ・農産物検査装置用高速画像処理エンジンの開発
- ・血乳検査技術の開発
- ・クラウド対応型データ収集システムの開発

### (4) 情報提供事業

研究成果や技術情報、セミナー開催等企業経営をサポートする情報を各種メディアを活用し広く提供し、中小企業者等の経営を総合支援する。

- ① ホームページの運用
- ② メールマガジン「十勝産業振興センターだより」の配信
- ③ 成果発表会の実施

(5) 人材養成事業

圏域内技術者の資質向上を図るため、CAD に関する技術講習会を開催するとともに、3D プリンタの利用促進を図る新たな講習会を実施する。

(6) 産学連携事業

ものづくりを中心とした企業支援成果の紹介・普及の機会として、展示会への出展を継続するとともに、関連団体等との交流促進を図る。また、産学官連携等を活用した事業化支援に関する情報収集を積極的に行う。

(7) その他

十勝産業振興センターを積極的に PR し、利用促進を図る。

3 地域連携支援事業【公益目的事業3】

(1) 物産振興支援事業

十勝産の農畜産物並びに加工品の販路拡大を目的として、アグリフード EXPO とフードデックスジャパンへ継続して出展するとともに、地域で実施されるイベントに参加・協力し、販売 PR 活動を行う。

(2) 産業連携支援事業

十勝圏の企業・関係機関等の人的・物的・知的交流機会の拡大を図るため、ヒューマンネット十勝を4回開催するとともに管内クラスター研究会の情報収集を行う。また、十勝産品の付加価値向上と信頼性を高めることで、農業、食品製造業、関連産業の振興を図り、地域全体の活力向上に資することを目的に、十勝ブランド認証機構の運営を支援し、事業拡大を図る。

(3) 外部資金による地域連携支援

外部資金による事業実施により、十勝産農畜水産物を活用した商品の販路開拓や産学官連携に寄与する事業を実施し、地域産業活性化を図る。